



海岸線の歴史

著者: 松本 健一

古代、山中に海があった。
今、海岸線はテトラポッドで埋め立てられ、消失しつつある。――

異常に海岸線の長い、世界有数の国、日本。
その「海やまのあひだ」で、日本人はどのように生きてきたのか？
古代から現代までの海岸線の変化を追いながら、これからの「日本のあり方」も浮き彫りにする。

10年を超える構想期間と度重なる推敲を経てついに完成した、
ありそうで無かった視点で語る、瞠目の日本論。

日本のアイデンティティは、 「海岸線」にあり。

「海やまのあひだ」はどのような変化をしてきたのか？
「日本人の生きるかたち」を根底から問い直す、瞠目の書



●目次

はじめに 海岸線は変わる

第一章 陸と海、神と人間が接する渚——古代から現代まで

第二章 山中に海があった——古代を中心に

第三章 海岸線に変化はなかったが——中世のころから

第四章 白砂青松の登場——江戸時代

第五章 『海国兵談』とナショナルな危機意識

第六章 「開国」と海岸線の大いなる変化

第七章 砂浜が消失する現代

第八章 海へのアイデンティティ

終章 海岸線を取り戻す——ナショナル・アイデンティティの再構築を求めて


●著者紹介: 松本健一(まつもと・けんいち)
1946年群馬県生まれ。東京大学経済学部卒業。現在、麗澤大学教授。
評論・評論・小説など多方面で活躍。著書に『白旗伝説』『北一輝論』(以上、
講談社学術文庫)、『砂の文明・石の文明・泥の文明』(PHP新書)など多数。

判型: 46判上製
定価: 1,890円(税込)
頁数: 259ページ
発刊: 2009年5月2日
ISBN: 978-4-903908-08-3
装丁デザイン: クラフトエヴィング商会

『海岸線の歴史』 著者: 松本健一

注文欄
ご注文数
冊

* ミシマ社の本の仕入方法について (基本パターン) *

- 直接取引(返品可) *詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率 : 70%
- ②納品 : 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。
- ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。  [直取引メインです]
- ④精算 : 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)
注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。

貴店名:
ご住所:
TEL:
FAX:
ご担当者: 様
通信欄